

# みんなで考えよう！！ 景観まちづくりワークショップ

日時：平成25年11月30日（土）14時00分～16時00分  
場所：行田市役所 3階305会議室

---

## 【本日の内容】

- 1 あいさつ
- 2 ワークショップの趣旨説明
- 3 グループワーク【取組みを進めるためにできること】
- 4 グループ別の発表
- 5 まとめ

# ワークショップの趣旨説明

## 【まちづくりに関する計画】

行田市都市計画マスタープラン（平成25年3月策定）  
計画期間：平成25年度～平成44年度

### 【将来像】

水と緑と歴史がおりなす 笑顔あふれるまち ぎょうだ



## 中心部地域の将来像と基本方針

### 【将来像】

水と緑を身近に感じ、歴史の風格が漂う 歩いて暮らせる便利なまち

### 【基本方針】

- 1) 水と緑と歴史を活かしたまちづくり
- 2) 安心して住み続けられる質が高く利便性の高いまちづくり
- 3) 人が集まり、活気とにぎわいのあるまちづくり

# ワークショップの趣旨説明



【ワークショップの目的】

- ・計画を実現するモデルとして、行田市駅周辺のまちづくりを考えます。
- ・そのために、地域の皆様やまちづくりに取り組んでいる団体の皆様と一緒にまちづくりを進めます。

## 例えば、こんなこと!!

- 歴史・文化資源を活用した界わいの整備
- 駅周辺における駐車場・駐輪場の整備促進
- 空き店舗活用の促進
- オープンスペース等の整備
- 歴史資源の保全・活用
- 歴史資源をめぐるルートの充実 など

# ワークショップの趣旨説明

【ワークショップの内容】

○2つのテーマに分かれて考えます。

行田らしい  
まち並み  
づくり

行田らしい  
にぎわい  
づくり



行田らしい景観まちづくりを目指して  
平成25年度 行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画の策定

# ワークショップの趣旨説明

## 【今年度の取組み】

- ・ 4回のワークショップを通じて、行田らしいまち並みづくりとにぎわいづくりに何が必要かを、みんなで考えます。



## 【今後の取組み】

- ・ 活動や取組みの実現に向けて、継続的に皆様とのつながりと検討機会を設けます。

# 前回（第3回）のまとめ

## 【第3回のまとめ】

- 14時～ ワークショップの趣旨説明
- 14時20分～ 先進事例紹介
- 14時30分～ グループワーク①【プロジェクトの提案】
- 14時50分～ グループワーク②【アクションプランの作成】
- 15時50分～ グループ別発表
- 16時 終了

# 前回（第3回）のまとめ

## ◆まち並みづくりA

### 〈新町通りと裏道通りを考えるプロジェクト〉

—新町通りと路地を地域や行政が主体となり歴史的な雰囲気を感じられる様にまち並みを整えることについて

- まち並みに溶け込めるデザイン性のある案内表示や水路であった案内表示を設置する。
- 路地の舗装を石畳にする。
- 空き家等を休憩場所や商店として活用する。
- ハード的な整備は行政が主体となって取組む。
- 地域が主体となり、路地沿いの花と緑を増やし、手入れも行っていく。

# 前回（第3回）のまとめ

## ◆まち並みづくりB

〈たくさんの人がつどい・出会う

本町通り界わいプロジェクト〉

—空き地や空き店舗等を活用した休憩所の設置等について

### 【空き地や空き店舗の活用】

- 休憩所として活用する。
- お年寄りが集えるコミュニティスペースとして活用する。
- 発表などの活動を行う。
- 駐車場として活用する。
- 空き地や沿道に蓮を植える。

# 前回（第3回）のまとめ

## ◆にぎわいづくりA

### 〈旧北谷横丁プロジェクト〉

ー旧北谷横丁の空き家等を地域で調査し、団体や事業者がふらい横丁を設置及び運営を行うことについて

- 空き家等を活用し、高齢者も利用し易く、長居出来る空間をつくる。
- 地域が主体となり、利用できる空き家等を1軒1軒回り、借りられそうか確認を行う。
- 生鮮食料品を販売する商店は始めにくい為、ブランド食材の販売を行う。
- 団体が主体となり、ふらい横丁をつくり、様々なふらい屋が出店するアンテナショップを運営する。

# 前回（第3回）のまとめ

## ◆にぎわいづくりB

〈地域資源をつなぐネットワークプロジェクト〉  
ーにぎわいづくりに関する具体的なテーマについて

【テーマに沿ったルートづくり】

- 各時代をテーマにしたルートや拠点をつくる。
- 文学や食を視点としたルートをつくる。
- 市内の寺社仏閣や碑をつないだルートをつくる。
- 童・銅人形を活用した、ストーリー性のあるルートをつくる。
- 忍川で秩父鉄道の駅間をつないだ、散策できるルートをつくる。
- 空き店舗や空き地を休憩所や物産館として活用する。

# 本日の予定

- 14時～ ワークショップの趣旨説明
- 14時15分～ グループワーク  
【取組みを進めるためにできること】
- 15時20分～ グループ別発表
- 15時40分～ まとめ
- 16時 終了

# グループワーク

まち並みA、まち並みB、にぎわいA

- ①これまでの提案内容から、優先度が高い取組みを決めましょう。
- ②取組みに対して、各立場のカードにできることを記入します。
- ③異なる立場の人に、やってもらいたいことを記入します。
- ④取組みを進めるにあたって、それぞれの立場がどのように関わるかをまとめます。

# グループワーク

まち並みA、まち並みB、にぎわいA

## ◆地域住民の方

住民カード

## ◆団体の方

団体カード

## ◆大学生の方

大学生カード

## ◆事業者の方

事業者カード

## ◆市外の方

市外の方カード

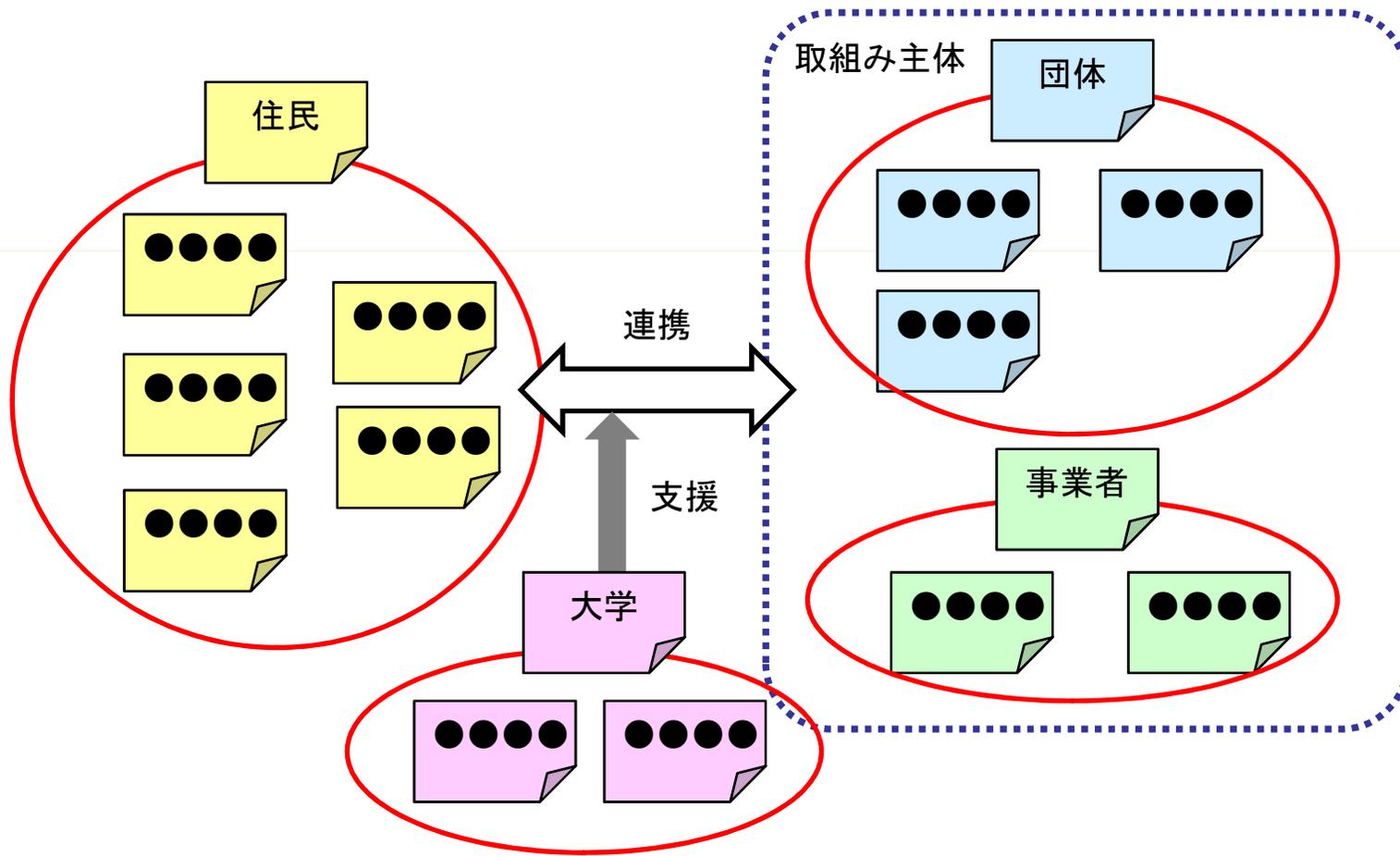
## ◆違う立場の人へ

( )から( )へ

# グループワーク

まち並みA、まち並みB、にぎわいA

取組み名: ●●●●●●●●



# グループワーク

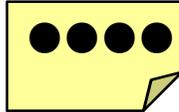
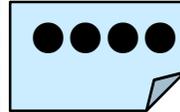
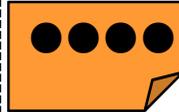
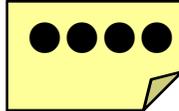
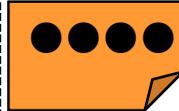
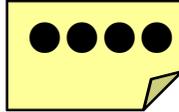
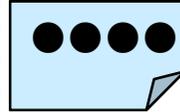
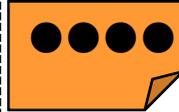
## にぎわいB

- ①これまでの提案内容から、優先度が高いにぎわいづくりのテーマをいくつか決めましょう。
- ②各テーマに対して、各立場の人(住民・団体・行政)にやってもらいたい取組み内容をカードに記入します。

# グループワーク にぎわいB

## 【進め方】

- ①テーマ名を記入します。
- ②テーマにそって、各主体が何をすればよいか提案します。

テーマ	取組み		
	住民	団体	行政
●●●●			
●●●●			
●●●●			

# グループワーク

## 【ワークショップのルール】

- 自分の主張ばかりせず、相手の話を聞きましょう
- 人の意見を否定しないようにしましょう
- 相手の意見のいいところを見つけましょう
- 進行役の言うことをしっかりと聞きましょう
- テーマにそった話をしましょう
- 楽しく、積極的に参加しましょう。

## グループ別の発表

- ◆話し合った内容を発表します。
- ◆発表する人を決めてください。

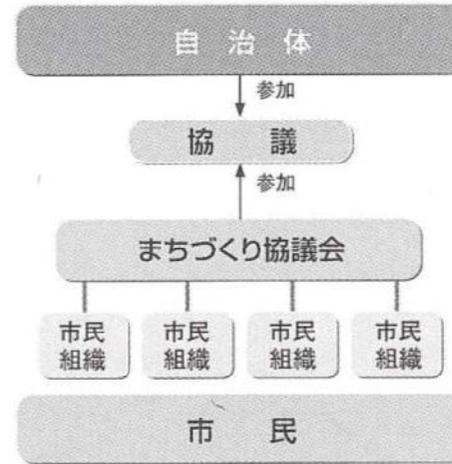
各グループ5分で  
発表

# まちづくりの推進に向けて

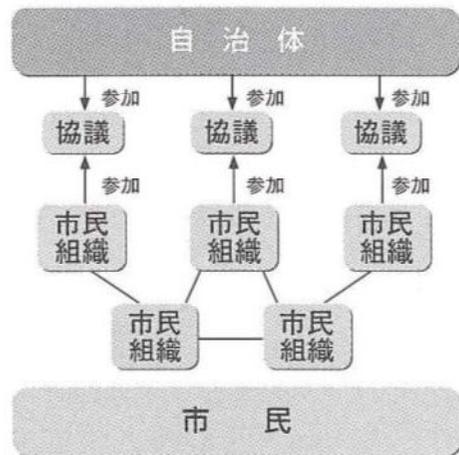
## 【まちづくり組織の体制】



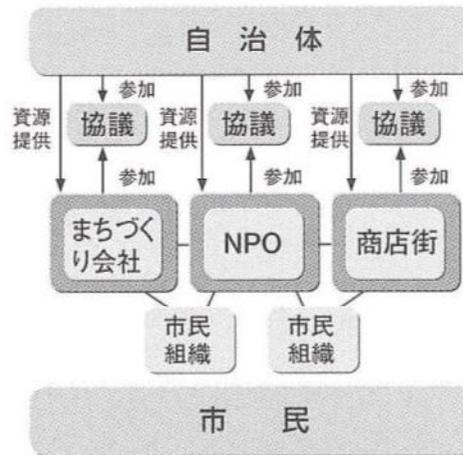
①地域運営組織型



②まちづくり協議会型



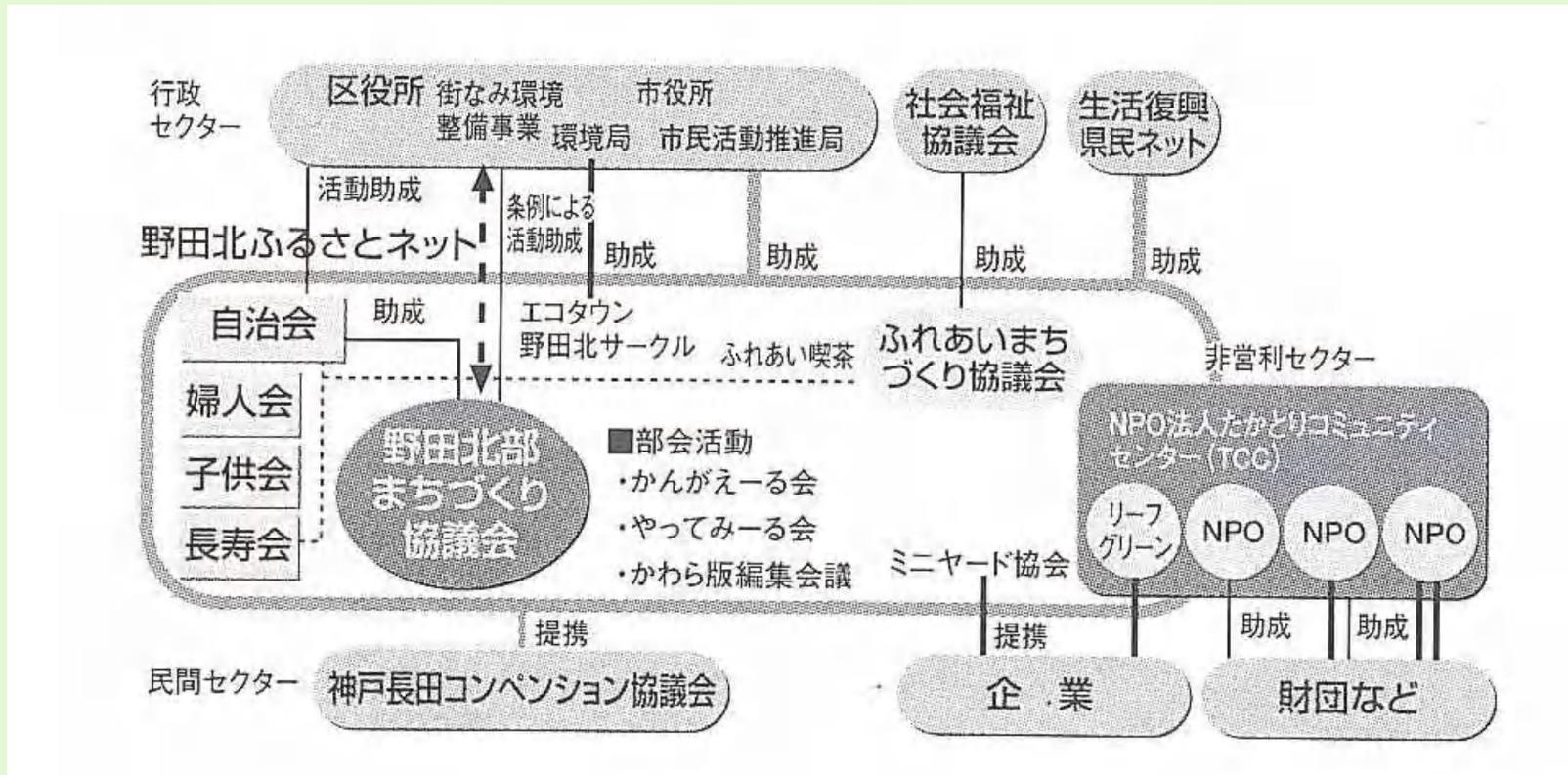
③小組織連携型



④コア組織連携型

# まちづくりの推進に向けて

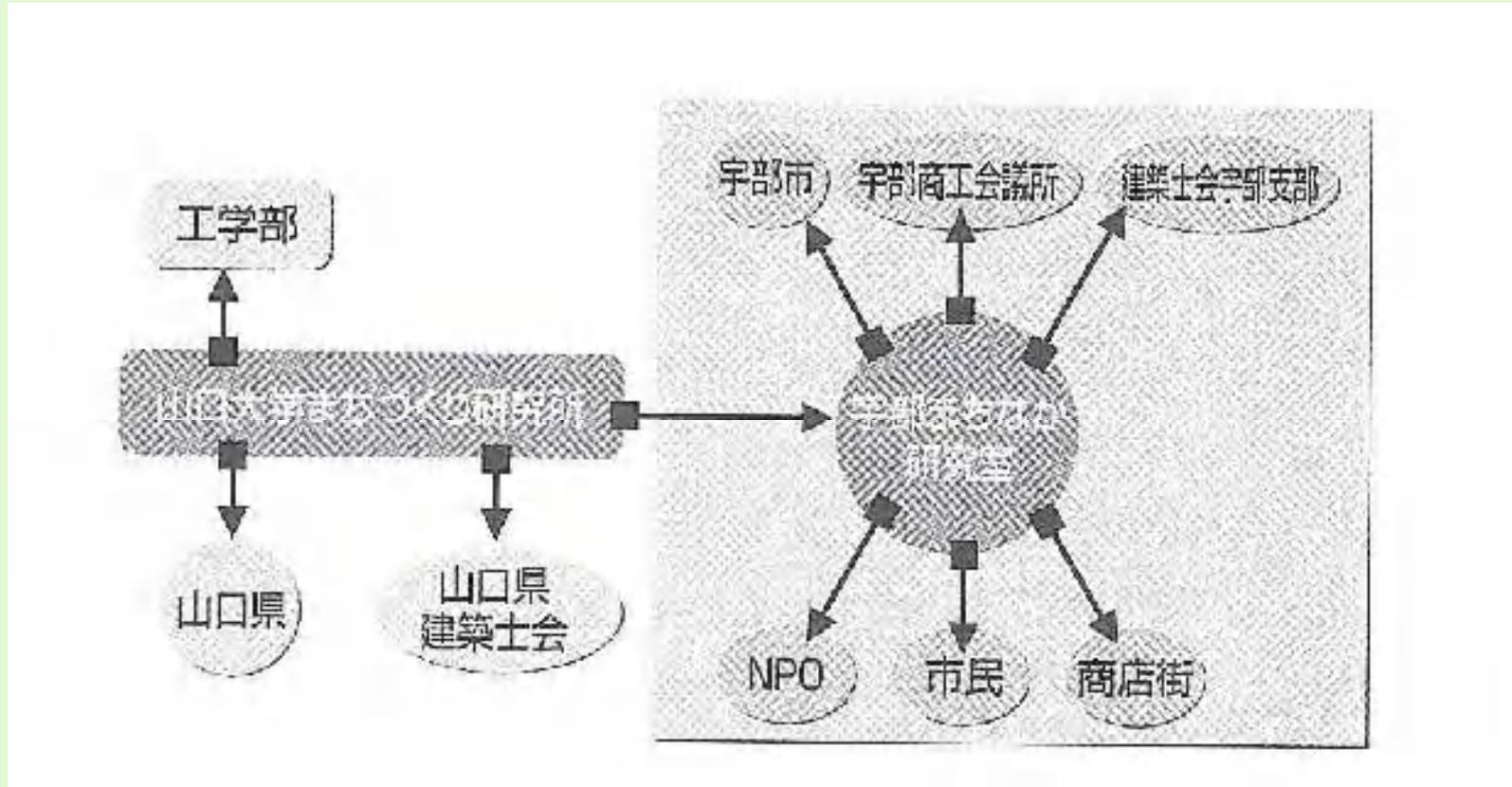
## 【神戸市野田北部地区のまちづくりパートナーシップ】



○「ふるさとづくり」というテーマを掲げ、各組織をゆるやかに包み込み、参加メンバーが時間をかけて議論や情報交換を進めていく「野田北ふるさとネットワーク」のまちづくり組織の誕生

# まちづくりの推進に向けて

【山口大学まちづくり研究所のまちづくりのネットワーク】



○まちづくりに関する地域の潜在力を顕在化する体制づくり  
(ネットワーク化)と、行政や地域のまちづくり組織と連携したまちづくり活動(パートナーシップ)を実践

# まとめ

## ◆まちづくりは継続性が大事

○今回のワークショップで意見を言って終わるのではなく、みんなが提案した内容を、行政と市民が一体となって、継続的に取り組んでいくことが重要です。

## ◆できることから少しずつ進めていく

○今回ご提案いただいた内容を計画に位置づけ、皆様と一緒に、できることから少しずつ進めていきます。

## ◆今後もつながりの場を設ける

○今回ご提案いただいたことを実現するために、今後もワークショップや意見交換を継続的に実施します。

**★平成26年2月頃に意見交換会を開催します。**

**★来年度も皆様にご参加いただき、一緒に行田市のまちづくりを考えていきましょう。**